

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	北堀けさ江
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3254
事務事業名	11704 公衆トイレ整備事業											
所 属	140100 環境部・生活環境課											
施 策	03011300 環境衛生施設の整備											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
	事業	060000 公衆トイレ整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
経年により老朽化する公衆トイレの改修を進める。						利用者に快適な衛生環境を構築し提供することができる。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
穀町公衆改修工事実施（25年度繰越）	村山駅前公衆トイレ公共下水道接続工事実施
平成26年度 予定	平成27年度 予定
芝宮公衆トイレ改修工事 北横町公衆トイレ改修工事	太子町公衆トイレ修繕（和→洋） 新町公衆トイレ修繕（和→洋）

指標名		改修トイレ数					単位	施設
算式								
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標		1	1	2	2		
	実績		1	1	2	2		
指標選定の理由								
最終年度目標の根拠								
指標名							単位	
算式								
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標							
	実績							
指標選定の理由								
最終年度目標の根拠								
指標名							単位	
算式								
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標							
	実績							
指標選定の理由								
最終年度目標の根拠								

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		0	19,000
特定財源	国庫支出金	0	7,600
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	10,300
	その他	0	0
一般財源		0	1,100
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.4
総額		0.0	19,000.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	19,000	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	汚い、臭い、暗いといったイメージを払拭し、観光地にふさわしい公衆トイレに整備する必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	衛生的な施設を提供することができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	社会資本整備総合交付金の活用により財源を補充できる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
時代にあった、公衆トイレに改修することにより、光熱費なども節約される。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>老朽化が著しい公衆トイレの改修や清掃など施設管理を継続し、快適な利用環境を維持するため、必要且つ有効な施策である</p>		<p>市内6か所の公衆トイレの内、平成25年度は、穀町、村山駅前の2箇所を改修し、市民や観光客の利便を向上させた。平成26年度も引き続き北横町、芝宮の2か所の改修を進める。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	